

# 右京から

## 市民の皆様との対話でつくる京都市政

・右京区に住むお一人お一人の声、思いなどを活かした京都市政や政治を進めます。  
・市民の皆様に近い政治、市民の皆様に寄り添った政治へと変えていきます。



### 6 京都経済の活性化

- 魅力ある京都企業の強みの促進
- 地域課題、社会課題解決に向けた公民連携の推進
- 中小企業の支援、デジタル化の推進
- 農業の担い手確保、地産地消の推進

### 7 まちづくりの活性化

- 市民団体、NPO、企業、大学等の多様な機関による地域、まちづくりの活性化



立憲ボトムアップビジョン2023  
立憲民主党自治体議員ネットワークは  
統一地方選の共通政策「立憲ボトム  
アップビジョン2023」を採択。地域の  
声、地方のニーズが、  
立憲民主党も政策づ  
くりに反映しています。  
ぜひ一読ください!



私の強みは、15年間の京都市役所勤務を通じて築いた“実行力”です。  
上記の12の政策を必ず実行していきます！みなさんの声を、私  
**さかまき ゆづる**に  
お聞かせください！

### 12 文化的振興

- 文化庁の京都移転を契機とした、身近な暮らしの文化を推進

### 10 防災、災害対策

- 気候変動による災害対応、地域における防災力向上の取組推進

### 8 バリアフリーなまちづくり

- 公共施設、駅、道路等のハード面のバリアフリー整備
- 暮らしを支える交通や道路整備、バス等の地域交通の充実

### 9 地域のつながり、助け合いのあるまちづくり

- 街中での助け合い等があるソフト面のバリアフリーの推進
- 地域の支え合い、地域自治の推進

### 11 行財政改革、メリハリある予算配分

- 行財政改革の推進
- 削減する部分と重点化する部分の予算にメリハリをつける

立憲民主党は第64回常任幹事会にて、  
次期京都市会議員選挙、右京区予定候補者として

# さかまき ゆづる

さんの公認を  
決定しました。



さかまき ゆづる  
(坂巻 譲理)  
プロフィール

1975年 6月23日生(47歳)／右京区太秦在住  
1999年 国立弘前大学卒／明治大学公共政策大学院(在学中)  
1999年 障がい者福祉事業所勤務(福祉支援員、所長等を歴任)  
2007年 京都市役所勤務【以降、保健福祉局、産業観光局、総合企画局等で勤務】(公民連携課長補佐等を歴任)

趣味 バスケットボール(競技歴約30年)、読書  
資格 社会福祉士、高等学校公民科教諭一種免許

## 対話と実行、右京から政治を変える！



立憲民主党は、さかまきさんを先頭に、  
より良い右京区、より良い京都市政を目指し、  
皆さんと“対話”を重ねています。

今号は中面で  
「右京区・対話と実行」を特集



さかまき ゆづる(坂巻 譲理)さんが障がい者福祉事業所で約7年間、京都市役所で約15年間働いてきた中で、最も大切にしてきたことは、一人ひとりの市民の皆さんとの“対話”。

さかまき ゆづるさんは市民の皆さんと話し合い、一緒に汗をかき、悩みながら、より良い政策を作り“実現”に取り組みます。



太秦広隆寺さん前に事務所開設!  
お気軽にお立ち寄りください!



嵐電 太秦広隆寺駅前徒歩1分

SNSやホームページで  
毎日の活動を発信中!



さかまき ゆづる 事務所  
京都市右京区太秦桂木町13-1酒井ビル1F  
TEL 075-861-0777  
Mail rikken.sakamaki@gmail.com



立憲民主党のポスターを、自宅の壁や駐車場のフェンスなどに貼らせていただけませんか。ご連絡お待ちしています。

ポスター掲示にご協力ください！

## 京北 50代男性

「仕事がなく街中まで車で通うのも大変。空き家の問題もあるが、人口が増える対策が必要。」



## 宕陰 70代女性

「人口が減少している。買い物は車で隣町まで行っているが、バスの本数も少なく大変。医者も少ない。」



## 水尾 60代男性

「人口が少なく、公共の設備も乏しい。道の状態が悪く長年要望をしてきた。道路の整備が必要。」



## 嵯峨 70代女性

「自宅の裏庭が崖で、大きな岩があり落ちてくるのが心配。役所に相談するも対応してくれない。」



## 嵐山 60代男性

「道路の舗装工事が長年言い続けてやっと実現した。とにかく京都市の赤字を減らしてほしい。」



毎日の対話

ボトムアップの政策

ご紹介した“お声”は、さかまきゆづるさん  
が右京区内の約7000軒のお宅を訪問さ  
せていただく中で、お話をいただいた方々  
からお聞きした“お声”的一部になります。

## 高雄 70代女性

「バスも1時間に数本だけ。車の運転ができなくなれば買い物や病院に行くのにも困る。」



## 広沢 60代女性

「選挙が終わると公約が忘れて守られない。公約を守ってほしい。」



## 嵯峨野 60代男性

「病院裏側の交差点について、車や歩行者が通りにくいので、改善してほしい。」



## 北梅津 40代女性

「障害のある子どもがおり授産施設に通っているが、工賃が低く生活が大変。障がい者支援に力を入れてほしい。」



## 梅津 30代女性

「子どもに対しては、マスク着用を緩和してほしい。コロナに気を付けながらも。」



## 宇多野 40代女性

「認知症の母親を介護しており、母親の体力の低下を心配している。特養にいた方がとも言われるが、コロナで面会もできなくなる。」



## 常磐野 70代男性

「まち全体の高齢化が進む中で、地域活動やサークル等を通じて、楽し暮らしていくための生き方を模索している。」



## 太秦 40代女性

「保育士の職員配置基準はとても大事。国基準よりも手厚い京都市の配置基準を守っていってほしい。」



## 南太秦 40代男性

「地域に子どもが少なくなった。国も子供対策をしているが、子供手当のみでは少子化の回復は厳しいのでは。」



## 葛野 30代男性

「子ども達の通学路に車が入ってくるため、安全な環境を作ってほしい。高さ規制の緩和も心配。昔ながらの生活も大切にしてほしい。」



## 御室 60代女性

「仕事をしながら母の介護をしていたが、デイサービスの時間が短くて大変だった。仕事があるので帰れなかった。」



## 花園 70代男性

「手描き友禅の職人だが伝統産業、呉服は厳しい状況。異業種交流の機会を作ることも必要。」



## 安井 70代女性

「年金が少ないので電気代が高く物価高で大変。市役所の建物は豪華すぎるのでは。」



## 山ノ内 90代女性

「耳は遠いが体は元気なので、周りの方が通うデイサービス等には行けず少し寂しい。家にいてもテレビを見るだけ。」



## 西院第一 50代女性

「京都市は妊娠・出産の助成が厳しいと聞くので、娘の里帰り出産を控えている。」



## 西院第二 70代男性

「地域活動は地元企業の支援で充実している。敬老乗車証の値上げは厳しい。」



## 西京極 40代男性

「燃料代が上がって商売が厳しくなっている。街や道路の開発の影響も心配。」



立憲民主党は  
対話と実行で  
政治を変える！



右京から